



令和7年度

自己評価及び外部評価結果

運営推進会議にて実施

令和8年2月13日

社会福祉法人こうほうえん

グループホームみなと

事業所番号 3190400139

所在地 鳥取県境港市上道町 2053-6

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を作成、掲示し共有を図っている。また部門目標、チーム目標につなげ取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方に、事業所の事を知っていただく活動や交流が日常的にできるようになった。今後も、コロナ感染にも配慮しながら、地域に出かけてつながりを持つことが望まれる。	交流の機会が以前のようにできるようになってきており、なじみの関係ができている。今後も感染症に注意しながら、交流のあった方々と情報交換を行うなど地域とのつながりを、継続していってほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓒ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月毎に会議を開催し、事業所の活動状況を報告し参加の委員より、ご意見、ご助言をいただきサービスの向上へつなげるよう努めている。具体的な取り組みが課題となる。	会議にて利用者状況を報告している。委員の方からのご意見をどのように取り組んだか具体的に報告をしていき共有を図るようにしていく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓓ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者と連携関係の情報の交換を行い共有を図るよう取り組んでいる。定期的に介護相談事業の訪問も受け利用者状況の情報の共有を行っている。	運営推進会議では、市町村関連や、介護相談事業の話題は少ないので、情報を得たいと、ご意見をいただいた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人としての身体拘束廃止の宣言を受け身体拘束についての研修に参加している。職員間でも身体拘束委員からの発信を中心に日頃のケアを振り返り拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束、法令順守の研修が定期的に開催されており職員は正しく理解し利用者のケアに取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている Ⓕ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修等が計画されており学ぶ機会がある。虐待の意味を正しく理解し職員の行動にも注意を払い防止に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修を通じて学ぶ機会がありケアの中で気づきを事業所内で共有を図り防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている Ⓖ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会に参加する等で学ぶ機会を持ち必要な事案が生じた場合には家族、市の長寿社会課、福祉課、包括支援センターと連携を図っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約書、重要事項説明書をもとにわかりやすく説明し、不安や疑問を伺いながら十分な説明をおこなうよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱を設置、ホームページや重要事項説明書、契約書に苦情受付の紹介。面会時には意見や意向を伺う様信頼関係に努めている。第三者委員の設置もされている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご意見箱は設置してあるも投函はない状態。面会時や運営推進会議等で具体的に話をすることで、ご意見や要望を言っていたことが多く、ご意見等は真摯に対応していく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が意見を言いやすい雰囲気作りに努め、会議では前もって確認しあう事を社内メールや書式を準備し代表者や管理者は随時職員の相談にのっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員個々に年度目標を掲げ実践している。資格取得には手当を支給、誕生日休暇、職員の処遇に応じた休み及び有給休暇を年間計画で取得できる職場環境を整えている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	誕生日休暇を取得していることも確認でき有給休暇の取得も年間計画表を活用して取得できる環境となっている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修の年間計画の掲示と通達を行い研修に参加できる環境を整えている。研修資料を職員間で共有し、Eラーニングも活用し取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が研修に参加出来るよう年間の研修計画が作成されており、参加が出来ない職員に対しても、資料を閲覧して内容を共有出来るようにしている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホーム協会に加盟し相互研修がある場合参加し、他事業所と意見交換が図れるよう取り組んでいる。また法人内の GH 会議を ZOOM で実施している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、ご利用者と共に過ごす時間の中で人生の先輩として意見を伺う場面等があり共に支えあう姿勢で接している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族との面会が居室内で出来るようになっただけでなく、希望に応じて外出や外泊も実施している。以前のように、ボランティア活動も取り入れることができています。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も外出等の実施や、可能な範囲でのボランティアを受け入れていく。ご家族代表より、面会時、関係継続を支援の焦点にされているのを実感していますとご意見あり。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から意向の確認を行い入居後も日頃の会話等から思いを引き出し支援している。意思疎通の困難な方はご家族からの意向やご利用者の行動、表情等を察し支援につなげている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族、必要な関係者(主治医、後見人)からご意見、ご意向を確認し、職員とのモニタリング他、日頃のケアを反映したサービス計画書の作成に努めている。	日頃から、状態の報告や説明を丁寧に 行い今後も継続して取り組む。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にあセスメントとケアの評価が行われており、全職員が交代制の中で、利用者へのより良い支援を家族にアドバイス出来ていると、ご家族代表よりご意見あり
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護管理日誌、記録用のスマホ・タブレットを共有し介護計画の見直し評価を行っている。日々の申し送り時に気づきや工夫を伝達している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のことで気づいたことは、日誌やタブレットに記録し、報告、共有を行っている。モニタリングで評価し、ケアプランの見直しを行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が受診の支援が行えない場合は、連絡をとり柔軟に対応している。ご利用者の状態よって作業療法士、言語聴覚士、看護師のアドバイスを頂きサービスの提供をしている。	ご家族の状況に対応し、今後も継続して取り組む。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上道8区と合同の納涼祭や防災訓練を行っている。地域の方のボランティア活動も盛んに取り入れ、交流の機会も増えている。	地域の方との交流や協力を得ながら安心して過ごせるように支援していく。 上道8区との交流は充分に出来ているとご意見いただく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医への受診は、ご家族に協力して頂き実施。連携を固く支援している。内科・歯科・眼科・皮膚科より往診を受け、ご利用者の健康チェックと相談が出来るよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時及び退院時常に情報提供を行ないながら話し合いを行なっている。入院時早急に医療相談員と連絡を取り、主治医とも相談し指示を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医や相談員ソーシャルワーカーと連携し入退院時の情報交換、共有が出来ている。ご家族より、受診から入院に至るプロセスについて関係する機関のネットワークの良さに感謝しましたとご意見あり。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の身体状況に合わせてご家族や主治医と連携しながらご本人の思いに添ったケアが出来るよう努めている。終末期のあり方は、計画書の更新時に家族と話し合い意向の確認している。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス計画書の更新時に意向の再確認を行いご家族と共有を図っている。状態の変化に応じて細やかに連絡をもらっていると、会議の中でご家族からの報告があった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時のマニュアルがあり手順に沿って対応している。救命救急の研修や、看護師主催の勉強会に参加し知識を身に付けるよう努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方とも連携し、防災訓練を実施している。非常時に備えて食糧や水を確保している。避難所として地域と協定を結び協力体制は出来ている。	様々な災害に対応できるよう訓練出来たらしい。「災害は必ず来る」の意識づけが大切だご意見あり。	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との協定があり訓練が実施されているが、火災訓練以外の実施と、運営推進会議の中で具体的な報告があると良い。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳に配慮した声かけ言葉づかいに気を付けて対応するよう努めている。「ご利用者の権利・尊厳を奪わないケア17か条の周知を図っている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の尊厳を守るため尊厳を奪う言動に注意するよう書面を掲示する等、個の尊厳に配慮した支援に取り組んでいる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのその日の体調を確認し状況に合わせてその時の本人の気持ちや個々のペースを尊重し支援をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゆっくりと食事出来る雰囲気作りを心掛けている。旬な食材を取り入れ、季節や行事に応じた献立や、誕生日にはご利用者の意向を取り入れた献立の作成に努めている。食事の準備や片付けを一緒にいき、共に暮らしている事を感じて頂ける様心掛けている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立作成時から、意向を取り入れている。その日の献立を掲示し、ご利用者が確認して楽しみにされている。また盛り付け、片づけ等出来ることを一緒に行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士と連携を取りバランスのよい食事の提供個々の状態に合わせた形態、嗜好の物を提供する。水分量は個別で1日に必要な量を把握、計画書に反映し支援をしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後には、口腔ケアを個々の状況に応じて支援を行い歯科衛生士の定期訪問により口腔内の評価、助言を受け支援に活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。 歯科衛生士が定期的に訪問して職員と連携を図っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄状況を把握し、トイレでの排泄支援に努めている。また利用者の身体機能に応じた排泄用品を判断し快適性にも配慮した支援に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録から、個々の排泄状況に応じた一人ひとりに適した排泄用品を判断している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの体調や身体状況に合わせて個々の希望に添った快適な入浴が出来るように努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの就寝時間に配慮し支援している。日光浴、散歩、外出等日中の活動量を増やす支援を行い安眠につながるよう努めている。また、体調や生活リズムに合わせて日中も休息時間を設けている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目的、副作用、用法用量、日数分の薬を処方箋に沿って確認、薬の管理をしている。状況変化があれば速やかに主治医に報告相談し対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当薬局の薬剤師と連携を図り薬の管理を行っている。 服薬手順に従い支援を行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に趣味や嗜好からやってみよう事を確認し、能力や希望に沿った支援に努めているが、ご利用者の状況により偏りがある。	ご利用者によっては、支援が難しい方もあるが趣味や役割を支援として努力はされている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、善段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に外の空気を感ずける様に季節や天候に応じて戸外へ出る支援は実施できている。 現在は、地域の公民館祭りや納涼祭に参加したり、自宅への外泊、外出の支援を行っている。	感染状況に応じて外出を行う支援、計画は継続されている。 1回でも多くとの意識を高く持ち、実践への努力が伺えると、ご家族代表よりご意見あり。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の金銭は、事業所が管理しており、自分でお金を使う方は、ほとんどおられないが、本人より買い物の依頼を受け購入している。今後は、個別の買い物の際に一緒に支払いが出来るよう取り組む。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との電話の取次ぎ、携帯電話の使用が出来るよう支援をしている。難聴等聞き取りが難しい方には、伝言で取り次ぐよう配慮している。リモート面会も実施している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じた花等を飾りまた作品を掲示している。共有部分、居室の空気の入替の際、花粉、黄砂、飛沫の時期は空調の管理も細やかにやっている。快適な温度設定にも努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行きやすさ、使いやすさに配慮し、利用者同士が一定のルールを守ってもらいつつ、気持ちよく生活できる空間にしていってほしい。
IV 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に意向、希望をご本人、ご家族に伺いサービス計画書に反映して暮らしの支援を行っているが、ここで暮らすことを理解されていない方の気持ちに沿えてない部分もある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から生活歴情報、認定時の情報を得ている。ご本人・ご家族より生活歴や環境状況を伺い日々の生活の把握を行いケアに努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各担当、主治医、訪問看護と連携し、日々の健康管理を実施している。環境、安全面においても状況の変化に合わせて対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康チェックが、毎日行われており体調面の変化に合わせて主治医と連携し支援を行っている。利用者にも十分関心を持ってもらえるよう日頃から努めていってほしい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのその日の体調に配慮しながらご本人の気持ちやペースを尊重した支援に努めている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活歴に配慮した大切な品を居室に保管し、写真、本等馴染みの物を側に置いている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の中に、ご本人やご家族の写真等が飾られておりご本人の馴染みの物が側に置いてある環境となっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の意向、希望に合わせた外出や地域の催しに参加して頂けるよう声をかけている。	公民館祭りや納涼祭等の地域交流への参加はできている。新たに中学校への訪問も行い、この設問に対する支援は組み立てられていると評価できる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況を踏まえて出来る役割、活動を日々の生活の中で行っている。出来ることで自信がもてるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の暮らしの中で、ご利用者同士、職員との関わりをもち地域・社会情勢も分かりあえる色々な話題で楽しんでいただいている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とご利用者が笑顔で話している様子が見られた。廊下の掲示スペースには、日々の活動の様子の写真が掲示されて楽しまれていることが、確認できた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状、近隣や地域交流の機会が少なく十分には出来ていないが、状況を見て、以前の交流の場を生かし計画していきたい。ホーム内での関わりは増やしている。	現在は地域交流の機会も持つことができている。今後も状況を見ながら交流の場を計画していく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ご利用者の家庭環境、事情等の違いはあるが、健康面にも留意して一人ひとりの状況に応じ、ここで安心した暮らしが出来るよう努めている。	グループホームで暮らせることは、家族にとっては、安心出来る、また色々細やかな支援をしてもらいたいとご意見をいただく。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで安心して過ごされている様子が見られた。ご利用者からも毎日楽しく過ごしているとの声が多く聞かれた。

